



# 未来を夢見て Season 2

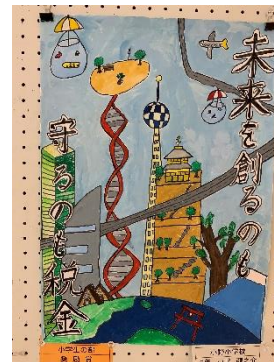
2021/11/5 No. 107

実りの秋～修学旅行・脱穀・税のポスター・体育館でのてこの授業～

早いもので修学旅行を終えてから一週間がたちました。これまで何度か修学旅行の引率を経験させていただきましたが、2日間ともこんなにお天気に恵まれた修学旅行は初めてでした。ホテルやバス、観光地（学習場所）での6年生の児童のみなさんのマナーも大変立派で感心しました。引率の先生方二日間お疲れ様でした。



11月4日（木）、大和町役場に打合せのため出かけました。エントランスに税のポスターが掲示されていて、素晴らしい作品の数々にしばし目を奪われました。写真は本校の児童の作品。子供たちなりによく考えているなあとも子供たちの感性に感心させられました。



11月5日（金）には5年生の総合で、地域コーディネーターの皆様をお迎えして脱穀の授業が行われました。例えば田んぼ作りからスタートして、田植え、稲刈り、そして脱穀と、小さい田んぼでしたが、5年生の児童のみなさんには米作りや地域の方々から学ぶ貴重な機会になったことと思います。今回は、新たに上野さんにもおいでいた



いて、脱穀の作業をお手伝いいただきました。コーディネーターの皆さん一年間ありがとうございました。

さて、写真は6年生の理科の授業。体育館で菅原浩一先生が「てこ」の授業を行っているところです。私ものぞかせていただきましたが、子供たちを惹きつける教材・教具の工夫は流石。写真のように、自らも教材と化して子供たちの前に提案できる方はなかなか少ないものと思われます。おいくつになっても変わらない授業づくりへの情熱は本当に私たちのよきお手本。こんなところにも浩一先生が子供たちから慕われる理由が隠されているのかも知れません（ちなみに今年度浩一先生は弘済会の教育論文に応募され「優良賞」を受賞されています）。



来週から、私も3年生以上の学級を回らせていただいて一時間ずつ授業をさせていただく予定です。昨年度から「朝会」のような機会に恵まれず、なかなか子供たちに話す機会が少ないので、今年は自分から回ってみようと思いました。内容は、今私が一番子供たちに伝えたいことをいくつかの資料を教材化して作成してみました。学び続ける浩一先生をお手本に私も精一杯やってみようと思っています。（文責：手代木）